

第5章 警備実施

警衛・警護

警 衛

平成 23 年中、天皇皇后両陛下は、

- ・ 第 62 回全国植樹祭御臨場（5月：和歌山県）
- ・ 第 66 回国民体育大会御臨場（10月：山口県）
- ・ 第 31 回全国豊かな海づくり大会御臨席（10月：鳥取県）

を始め、東日本大震災に伴う被災地御見舞（4月：千葉県・茨城県・宮城県、5月：岩手県・福島県）等のため行幸啓になりました。



東日本大震災に伴う被災地御見舞(4月、宮城)



国際微生物学連合2011会議記念式典御臨席に伴う警衛警備(9月、北海道)

皇太子殿下は、

- ・ 第 22 回全国「みどりの愛護」のつどい御臨席（5月：富山県）
- ・ 平成 23 年度全国高等学校総合体育大会御臨場（7月：青森県）
- ・ 第 26 回国民文化祭御臨場（10月：京都府）

等のため行啓になったほか、皇太子同妃両殿下は、東日本大震災に伴う被災地御見舞（6月：宮城県、7月：福島県、8月：岩手県）のため行啓になりました。

また、海外へは、皇太子殿下が国際親善のためドイツ（6月）を御訪問になるなど、皇族方が計 12 回御訪問又は御旅行になりました。

警察では、皇室と国民との親和に配慮した警衛警備を実施し、御身辺の安全確保と歓送迎者の雑踏事故防止を図りました。



東日本大震災に伴う被災地御見舞(7月、福島)

警 護

■ 外国要人

23年中は、5月に**第4回日中韓サミット**等が開催され、中国の温家宝国務院総理及び韓国の李明博大統領が来日したほか、国賓としてブータン王国のジグミ・ケサル国王王妃両陛下（11月）、公式実務訪問賓客としてウクライナのヤヌコーヴィチ大統領（1月）、ウズベキスタンのカリモフ大統領夫妻（2月）、セルビアのタディッチ大統領（3月）、オーストラリアのギラード首相（4月）、フィリピンのアキノ大統領（9月）、ドイツのメルク大統領（10月）、非公式訪問でフランスのサルコジ大統領（3月）、米国のクリントン国務長官（4月）、バイデン副大統領（8月）等がそれぞれ来日しました。

関係都道府県警察は、所要の警備諸対策を実施し、外国要人の身辺の安全を確保しました。



李明博大統領来日時の警護(12月、大阪)

■ 国内要人

23年中、警察では、菅首相（当時）のダボス会議出席等に伴うスイス訪問（1月）、G8ドーヴィル・サミット出席及び日EU定期首脳会議出席等に伴うフランス・ベルギー訪問（5月）や野田首相の第66回国連総会出席等に伴う米国訪問（9月）、日韓首脳会談等に伴う韓国訪問（10月）、G20カンヌ・サミット出席等に伴うフランス訪問（11月）、ホノルルAPEC首脳会議出席等に伴う米国訪問（11月）、ASEAN関連首脳会議出席等に伴うインドネシア訪問（11月）、日中首脳会談等に伴う中国訪問、日印首脳会談等に伴うインド訪問（12月）などの警護に関し、関係国の警護当局と緊密に連携して、首相の身辺の安全を確保しました。

また、東日本大震災（3月）の発生に伴い、**首相を始め閣僚等が続々と被災地に入り、被害状況の視察等を行いました。**

関係都道府県警察では、過酷な勤務環境と右翼によるテロ等違法事案の発生が懸念される厳しい情勢の中、所要の警備諸対策を実施し、国内要人の身辺の安全を確保しました。



被災地視察に伴う警護警備(10月、福島) (共同)